平成20年度　施策評価シート

◆総合計画における位置付け等

平成20年6月　日記入

基本目標	躍動し　魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	35220
政策名（章）	第5章　輝き魅力あるまちづくりを進めます	評価担当局	環境経済局
基本施策名（節名）	第2節　観光の振興と余暇対策の推進	施策所管課	観光振興課
施　策　名	余暇利用施設の充実	課長名	甘利俊治

1　施策の目的・概要（目的はわかりやすく記入）

津久井郡4町との合併に伴い、旧相模原市の都市固有の景観やにぎわいなどを楽しむ「都市型観光」に加え、津久井地域の自然、歴史・文化、観光・レクリエーションなどの多様な地域資源を生かした新たな観光交流を創出することで、交流人口の拡大による地域の活性化を促し、魅力的な都市の形成を目指します。

基本理念　「まち・自然・文化が奏でる観光交流都市　さがみはら」 ～おもてなしの心あふれ、個性がひかる地域づくり～

基本方針　1 都市の魅力と豊かな自然資源を生かした観光振興　2 おもてなしの心あふれる人と組織づくり　3 観光情報の充実

余暇利用施設については、市民が気軽に自然に親しめる施設として、安全で快適な施設整備（管理）を進めるとともに、体験交流事業との組み合わせや観光ホスピタリティの向上、情報の充実により、利便性や利用率の向上を図る。

2　事業費・人員

（単位：千円）

年度	平成17年度（決算）	平成19年度（決算）	増減の主な理由
事業費	180,819	164,859	（増加要因）合併に伴う管理施設数等の増加　32,219千円 （減少要因）指定管理者制度の導入　△50,269千円
人件費	6,843		
市民一人あたりの事業費（単位：円）	271	234	
合計	187,662	164,859	

＊人件費は、職員一人あたり　H17：805万円、H19：805万円として算定。人口は、66.7万人（H18.4.1現在）、70.6万人（H20.4.1現在）とした。

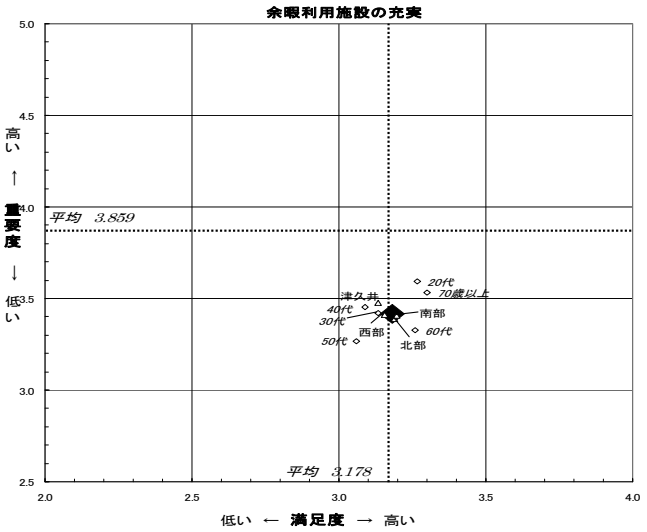
3　成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	目標値の考え方（根拠）
指標1	キャンプ場の利用者数	当該年度利用者数	過去最高利用者（利用者協力金制度導入後）数 （H16=52,607人）
指標2	相模川自然の村の稼働率	当該年度の利用室数／利用可能室数×100	1ポイントの増加（過去5年間の稼働率の前年比の平均値:1.1ポイント減）
指標3	たてしな自然の村の稼働率	当該年度のキャビンの利用部屋数／キャビン使用可能部屋数×100	0.5ポイントの増加（過去5年間の稼働率の前年比の平均値:1.3ポイント減）
指標4	温泉施設の利用者数	公営施設の当該年度利用者数	対前年1ポイントの増加（いやしの湯　やまなみ温泉開設後3年目以降5ヵ年の平均値1ポイント減、やまなみ温泉　5年続いた減少傾
指標5			

	基準年	基準値	H19		H20		H21		H22	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標1（単位：人）	H17	52,600	52,600	46,500	52,600		52,600		52,600	
事業費／人員										
指標2（単位：%）	H17	74.0	78.0	85.1	85.0		86.0		87.0	
事業費／人員										
指標3（単位：%）	H17	32.0	33.0	32.0	33.5		34.0		35.0	
事業費／人員										
指標4（単位：人）	H17	202,000	219,000	219,000	221,000		223,500		225,500	
事業費／人員										
指標5（単位：%）										
事業費／人員										

4　市民満足度調査結果（平成20年度実施分）

〇この施策の満足度は3.181で121施策の中で46番目。
〇重要度は3.415で111番目である。
〇改善要望度は-0.3162で110番目である。
〇年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、50代で最も低くなっている。重要度は20代で最も高く、50代で最も低くなっている。
〇地区別にみると、満足度は南部で最も高く、津久井で最も低くなっている。重要度は津久井で最も高く、北部で最も低くなっている。



5　1次評価（2つの視点から評価を行う）

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回（H18）評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 (2) 1	4 (2) 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 (2) 1	4 (2) 1	
合計		4	評価結果に基づく区分（2項目の合計点数による） A（6点以上）　B（5点・4点）　C（3点以下）	1次評価 B

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6　課題と解決策（現状または、評価結果から）

課題	余暇利用施設は、週末、GW、夏休み期間の利用が中心となっている。 また、キャンプ場は、天候により利用者数の増減がある。
解決策	平日の利用の促進、経費削減をすすめる。 施設単独でなく、複数の施設を回遊させる魅力づくりを進める。

7　2次評価及び意見（1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入）

	2次評価 B

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8　3次評価及び意見（評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入）

	3次評価 B

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

余暇利用施設の充実

コード	35220

構成事務事業一覧

単位：千円

事務事業担当課	構成事務事業	H19決算見込（事業費）	H20予算（事業費）	H21見込額（事業費）	事業効果の高い指標番号	前回の優先順位	H17人員（人）	H17決算額（事業費）	H17合計（人件費含む）
観光振興課	キャンプ場管理運営費	12,874	15,164	15,164	1	1	0.10	13,029	13,834
津久井経済課	キャンプ場管理運営費	113	113	113	1				0
観光振興課	~~憩いの場維持管理~~ 観光施設維持管理費	3,753	3,249	3,249		4	0.05	2,541	2,944
城山経済環境課	観光施設維持管理費	9,389	10,396	10,396					0
津久井経済課	観光施設維持管理費	3,631	2,358	2,358					0
相模湖経済環境課	観光施設維持管理費	1,907	2,128	2,128					0
藤野経済環境課	観光施設維持管理費	2,658	4,698	4,698					0
相模湖経済環境課	ふるさとの森事業費	2,264	3,544	3,544	1				0
津久井経済課	緑の休暇村センター維持管理費	7,766	3,751	3,751	1、4				0
藤野経済環境課	やまなみ温泉管理運営費	3,393	1,910	1,910	4				0
観光振興課	たてしな自然の村管理運営費	45,908	55,900	55,900	3	2	0.20	65,537	67,147
観光振興課	相模川自然の村管理運営費	71,203	71,118	71,118	2	3	0.50	99,712	103,737
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		164,859	174,329	174,329			0.85	180,819	187,662